

日・メコン連結性イニシアティブ

メコン地域において、「新東京戦略2015」及び「日メコン行動計画」に沿って、更にインフラ整備を進めるとともに、次のステージとして、物理的な連結性が十分に活用されるための制度的な連結性の強化（制度改善、SEZ等の拠点整備、産業振興策、通関の円滑化等）、人的な連結性の強化に取り組み、成長の果実を地域全体に。地域統合を促し、ASEAN共同体強化を後押し。

【具体的な協力の柱】

- 東西・南部経済回廊のまだ手当てできてない部分のインフラ整備。
- 通関効率化、金融等の制度改善により、より円滑につながる回廊への改善。
- 回廊の沿線開発（工業団地産業振興）と、近隣地域から回廊へのアクセス強化により、発展を点から面へ広げる。
- 成長を支える域内の産業人材育成と人的ネットワークの強化。

【協力を実施する上での留意点】

- ◆ ACMECSやCLMV協力等も含むメコン関係国間のイニシアティブに基づく合意形成を重視。日本はその取組をファシリテーター、三角協力等の形で支援。
- ◆ メコン地域全体が裨益するバランスある開発を目指す。
- ◆ 進出日系企業と緊密に連携しつつ、官民を挙げてメコン各国の開発ニーズに応える。

【イニシアティブ推進の体制】

- ・日本は、既存の日メコン枠組における政治・高級事務レベルの会合で、本件イニシアティブについて議論を行う。
- ・日本とメコン諸国は、「新東京戦略2015」、「日メコン行動計画」に基づき、SOMの下にシニアレベル・ワーキンググループ(WG)を立ち上げる。
- ・まず最初に、経済回廊に関するWGを立ち上げ、地域における具体的なインフラ整備事業の優先順位を議論する。

【今後のスケジュール】

- ・7月の日メコン外相会議で正式にイニシアティブを立ち上げる。
- ・9月の日メコン首脳会議前に、最初の経済回廊に関するWGを開催する。
- ・9月の日メコン首脳会議で、象徴的な連結性プロジェクトの実施計画を含むイニシアティブの詳細を発表する。